

# いわて車いすフレレンズ 車いす整備技術講習会



車いすを積んだトラックを見おくり



車いす組立の様子



車いす解体の様子



車いすをトラックに搬入

いわて車いすフレレンズは、県内の工業高校生などが、壊れたり古くなったりして使用できなくなった車いすを整備し、アジア諸国などの海外の方々にプレゼントする活動です。車いすの整備技術を学ぶ講習会が、6月28日ふれあいランド岩手で開催され、県内工業高校6校の生徒と教職員合わせて33名が参加しました。講習会では、アドバイザーの嶋見優太氏（新潟医療福祉大学FWSのOB）から、車いすの寄贈を受けた海外の方の反応や、車いすの整備のポイントなどの説明がありました。その後、アドバイザーの宮嶋大虎氏（神奈川工科大学KWR）、講師の工藤彰一氏、赤坂裕樹氏（有限会社東日本福祉機器商会 福祉用具専門相談員）も加わり、車いすの分解、ノーパンクタイヤへの交換、さび取りなど、壊れた車いすを整備しました。参加した高校生は「車い

すの修理は地道な作業ですが一生懸命やりたいです」「修理した車いすを使ってもらえたら嬉しいです」と意欲的に修理を行っていました。この活動は、全国的には1999年から始まり、24都道府県の工業高校生などが、2017年までに累計9,200台を30か国に贈呈し、1年間の平均贈呈数は480台に達しています。今回いわて車いすフレレンズが修理した車いす8台は、他の地域で修理・整備した車いすとともに、アジア諸国などに贈られます。



講義の様子